

福岡大学筑紫病院の基本理念

あたたかい医療

(私たちは、心の通う医療を実践しています)

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。その基本は「人間性に立脚した医療」、その繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

目次	耳鼻いんこう科紹介(診療部長のご挨拶).....	1~3
	がんセミナー開催/いきいき健康セミナーのお知らせ.....	4
	救急医療関係功労者知事表彰受賞.....	4
	夏祭り開催.....	4

ちくし



がんセミナーを開催しました

令和元年8月5日(月)筑紫病院においてがんセミナーを開催しました。「胃がんの診断・治療:最先端」というテーマで、当院内視鏡部教授の八尾建史先生が講演しました。当日は実際の内視鏡システムを使用した説明も行い、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。今後も市民の皆さんに役に立つセミナーを予定していますので多くの方ご参加を心よりお待ちしております。



筑紫病院が「令和元年度救急医療関係功労者知事表彰」を受賞しました。

長年にわたる救急医療の推進に積極的に取り組んできた福岡大学筑紫病院の功績が認められ、「令和元年度救急医療関係功労者知事表彰」を受賞しました。授賞式は、令和元年9月8日「福岡県救急の日のつどい2019」において執り行われ、柴田陽三病院長に表彰状が授与されました。



夏祭りを開催しました

8月3日(土)にボランティア委員会主催による筑紫病院夏祭りを開催しました。会場では、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、うちわ作り等のブースがあり、ご来場いただいた方々のたくさんの笑顔が見られ、賑やかなお祭りとなりました。



耳鼻いんこう科紹介

診療部長のご挨拶

平素より病診連携におきまして、大変お世話になっております。平成31年4月に福岡大学筑紫病院に就任しました「澤津橋 基広(さわつばし もとひろ)」です。私は、1993年に佐賀医科大学を卒業後、同大学耳鼻咽喉科教室(進武幹教授)に入局しました。大学院(外科病理)も含めまして、約10年間所属し、頭頸部癌や嚥下障害を中心とした研究・診療を行い、外来医長、病棟医長、医局長などの管理業務も経験させて頂きました。



耳鼻いんこう科 診療部長
澤津橋 基広

2002年にスウェーデン王立イェテボリ大学耳鼻咽喉科に臨床留学し、当時日本に導入されていなかった埋め込み型骨導補聴器(Baha)手術(図1)や顔面インプラントの手術技術を習得しました。また、スウェーデンの歴史や医療福祉制度の実態を知ることにより、日本の医療制度や医療技術の良さを改めて認識でき、海外から日本の姿を見ることができたのも良かったと思っています。帰国後は、聴覚改善や音声改善、嚥下改善に関連した機能外科手術だけでなく地域医療への思いが強くなり、2003年8月に佐賀医科大学耳鼻咽喉科学教室を退局し、佐賀県鹿島市の社会医療法人祐愛会織田病院に就職しました。そこでは、年間500例を超える耳鼻咽喉科の手術(主に鼓室形成や内視鏡下鼻副鼻腔手術)や医療支援を中心とした地域医療だけでなく、病院管理や医療経営、病院機能評価なども経験させて頂きました。その後、当時技術指導にいられていた小宗静男先生(九州大学医学部名誉教授)、梅崎俊郎先生(九州大学臨床教授)のお計らいもあり、2009年九州大学耳鼻咽喉科学教室に入局しました。九州大学病院でも、鼻副鼻腔専門外来や音声嚥下専門外来、気道外来とそれらに関連した手術診療だけでなく、外来医長、病棟医長、副診療科長と管理業務に従事させて頂きました。研究の面では、内視鏡下鼻副鼻腔手術に関する臨床研究や、音声障害や嚥下障害に関する研究、スギ花粉症に対する新しい経口的腸管免疫療法薬の研究及び治験など、世界的なレベルの研究ができたことも私の大きな財産になりました。今回、九州大学耳鼻咽喉科学中川尚志教授の御支援もあり、10年間務めました九州大学耳鼻咽喉科教室を退局し、福岡大学医学部耳鼻咽喉科教室(坂田俊文教授)に入局の

福岡大学 筑紫病院 **いきいき健康セミナー** 入場無料 事前申込不要

脳卒中と闘おう

日時 令和元年**11月7日(木)** 14:00~15:00 (受付13:30~)

講師 福岡大学筑紫病院 脳神経外科 教授 **東 登志夫** 先生

場所 福岡大学筑紫病院 3階ガーデンホール
※駐車場は外来駐車場をご利用下さい(有料)

福岡大学筑紫病院 地域医療支援センター(担当:伊藤 田代)
〒818-8502 筑紫野市俗明院一丁目1番1号
TEL 092 (921) 1011 (内) 1150
http://www.chikushi.fukuoka-u.ac.jp/

診療日のご案内

	循環器内科	内分泌糖尿病科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	外科	整形外科	形成外科(午前のみ)	脳神経外科	皮膚科(午後のみ)	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【受付時間】
〈平日〉8:40~11:00
※皮膚科〈月曜〉14:00~診察(4月より診療日変更)

【休診日】
土曜日(7月より休診)・日曜日・祝祭日
年末・年始(12月29日~1月3日) お盆(8月15日)

【面会時間】
〈平日・土曜日〉13:00~20:00 〈日曜日・祝祭日〉11:00~20:00

交通のご案内



JR・西鉄電車ご利用の場合
西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車.....徒歩3分
JR鹿児島本線「天拝山駅」下車.....徒歩3分

自家用車ご利用の場合
九州自動車道「筑紫野IC」より.....車で5分
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武蔵交差点より.....車で5分

※時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。
※なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。



上、福岡大学筑紫病院で勤務させて頂くことになりました。3つの大学医局を経験することは、多くの先生方と出会い、様々な経験をさせて頂き、その先生方に支えられ、さらに成長できる良い機会と思っております。

専門は、上気道（鼻副鼻腔から喉頭・気管の疾患）です。具体的には、伝音性難聴（図2）、嗅覚障害、鼻閉（鼻副鼻腔炎疾患、図3、4）、音声障害や声帯麻痺、嚥下障害（図5-7）の患者さんの診断を行い、手術適応があれば、内視鏡や顕微鏡を用いた機能改善手術を行っています。今後は、その専門性を活かし、地域医療に貢献し、全国レベルでの模範になるべく、大学病院としての責務を果たしていきたいと思っております。

当科の診療実績と今後の展望

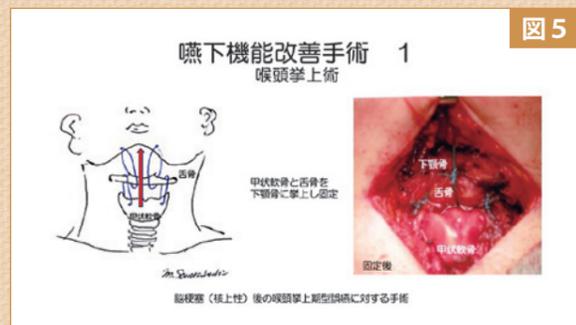
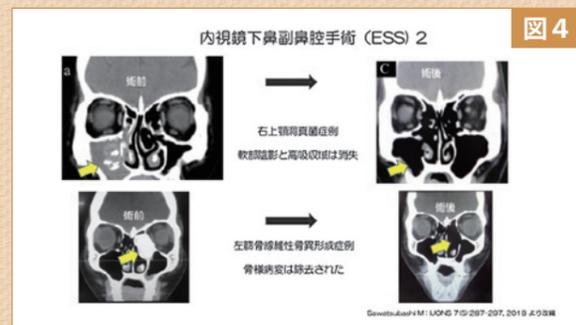
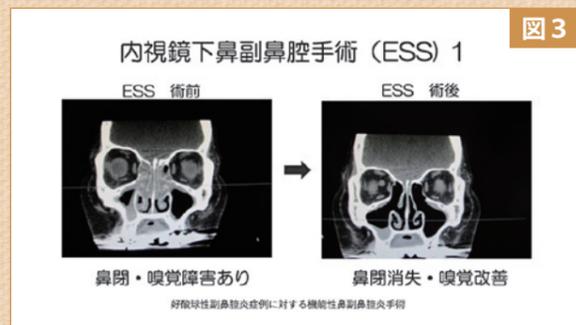
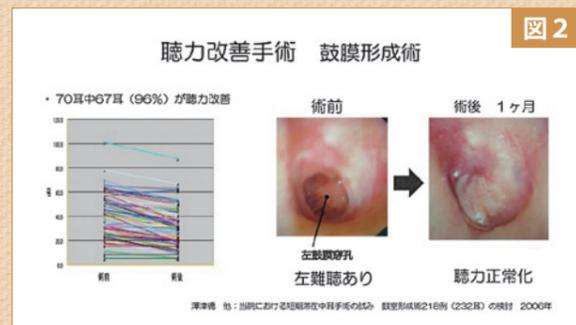
平成30年度の耳鼻いんこう科の延べ入院症例数（全体）は、403例でした。その内訳は、手術症例数、延べ363例、手術以外の保存的加療、延べ40例でした（図8）。具体的には、鼓膜チューブ留置術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、ラリngoマイクロ手術、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、甲状腺手術や唾液腺手術が主な手術内容です。また、めまい症、突発性難聴や顔面神経麻痺、扁桃周囲膿瘍、喉頭蓋炎といった入院管理の必要な保存的加療も積極的に行いました。

今年度の耳鼻いんこう科スタッフは、耳鼻咽喉科専門医・指導医1名（澤津橋基広）、耳鼻咽喉科専門医2名（杉山喜一、梅野悠太）、耳鼻咽喉科専修医1名（速水菜帆）の合計4人体制です（スタッフ写真）。新患は、月、水、金の午前11時までの受付で、紹介状持参であれば、予約なしでも受け付け可能にしております（表1）。可能でしたら待ち時間等の調整のため、新患紹介は、地域医療支援センター経由でご予約をお願い致します。

今年度から嚥下診療強化のため、月曜日の午後に嚥下専門外来（予約再診）を設置しました。嚥下内視鏡検査（図9）や、嚥下造影検査を言語聴覚士と行い、病態を把握の上、診断、治療をチームとして行って参ります。「経口摂取可能か？」の判断から、「どうしたら経口摂取可能か」、経口摂取可能になれば、「どこまで、これまでの普通の食事に戻れるか？」の判断やリハビリ内容、嚥下機能改善手術や誤嚥防止手術を検討し、チームとして活動を行って参ります。また、これまでと同様、地域に根付いた診療を行い、病診および病病連携に努め、地域の医師会の先生との定期的な情報交換会も引き続き行なっていきたく思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

表1

	月	火	水	木	金
午前	澤津橋 梅野 速水		杉山 梅野 速水		澤津橋 杉山 速水
午後	予約再来 嚥下外来 (再診)	手術日 特殊検査	予約再来	手術日 特殊検査	予約再来 音声外来 (再診)



耳鼻いんこう科スタッフ
(左から)
速水菜帆、杉山喜一
澤津橋基広、梅野悠太